

# 親善使節団がオリンピア市を訪問

今年の4月22日、加東市とアメリカ合衆国ワシントン州オリンピア市が、姉妹都市提携30周年を迎えました。

それを記念して、オリンピア市役所で催される記念式典に出席するため、親善使節団11人が、9月30日から10月4日まで、オリンピア市を訪問しました。



姉妹都市提携30周年記念協定書に調印



建設が進む「ハンズオン!こども博物館」



水資源教育施設「LOTT」

記念式典では、30周年記念協定書への調印が行われました。署名は、加東市代表として、安田市長、長谷川市議会議長、池見国際交流協会会長、

オリンピア市代表として、マール市長、ミラー姉妹都市委員会会長、宮下副会長によって行われ、今後、教育・環境・市政・商業の分野を含めた積

極的な姉妹都市交流を進めていくことや、どちらかの市に災害が起こった際には、お互いに最大の支援を行うことを確認しました。

訪問団は滞在中、オリンピア市役所やワシントン州議事堂のほか、現在新築中の大型教育支援施設「ハンズオン!こども博物館」や「LOTT(ロット)」と呼ばれる水資源教育施設、地域ケーブルテレビ局「TCCTV」など、市内のさまざまな公共施設を見学し、オリンピア市が進めるまちづくりについて説明を受けました。

また、両市ケーブルテレビ局の番組交換や、地元物産品の交換など、今後進めていく交流内容について、アイデアや意見が交わされました。

今後も相互訪問や情報交換などを積極的に行うことで、この友好関係を大切に育み、両市のさらなる発展に向けて取り組んでいきます。

## お祝いのメッセージをご紹介します



ワシントン州と兵庫県は姉妹州(県)です。そのため、州・県内の多くの市が、姉妹都市を締結しています。中でもオリンピア市と加東市は、実りある多くの事業を実施してこられました。

今回迎えられた姉妹都市提携30周年は、さらなる協力関係を築くにあたり、これまでの数々の実績と成果を振り返る素晴らしい機会であり、ワシントン州と日本国との友好関係をお祝いする機会でもあります。

私は、両市が永年にわたり築かれてきた強い絆を誇りに思うとともに、オリンピア市と加東市の関係は、文化、経済、教育分野における国際協力、また、世界平和を推進するためのモデルであると信じています。

私たちの友好関係が永久に続きますことを心から祈念いたします。

ワシントン州知事 クリスティン・グレゴア



この30年間、私たちは文化・教育交流に尽力し、多くの学生や市民、そして地域の代表者に、親善大使としての役割を果たしていただきました。これらの交流は私たちに、お互いの文化に対する深い理解と尊敬の念、そして何よりも、永遠に続く温かい友情をもたらしました。

また、オリンピア市と加東市の固い絆は、危機や自然災害で困難な状況にある時でも、お互いを助け、支え合うゆるぎない基盤となっています。

私たちの姉妹都市関係を育み、高めてくださった加東とオリンピアの市民のみなさまの努力に、改めて感謝しなければと強く感じています。30年間にもわたり、両市のために多大なるご貢献をいただき、厚くお礼申し上げます。

そして、これから始まる新たな友好の30年を、心から期待しています。

オリンピア市長 ダグ・マー